

市史研究くまもと 第12号

表題	執筆者	頁	内容
池辺寺伝承の変容をめぐって	佐藤征子	1	1)地誌記載の伝承 2)池辺寺縁起絵巻 3)伝承の変容 4)結びにかえて
「熊本市救急統計」この四〇年	吉原亀久雄	23	熊本市の救急業務の拡充・進展の推移 最初は交通事故が最多、40% 急病は定められた事故のみ 救急車が安全の信頼感で きびしい「不搬送」の状況も 応需体制の整備が進む 市民サイドの公平なサービス 昭和61年、出場1万件突破 救急隊配置を年々増強 「高規格救急車を導入」 救急救命士の対応で高度化 「高規格救急車」の特集組む 応急手当普及啓発運動も プレホスピタルケアの充実へ 急病出場の最多月は12月 インフルエンザで記録的増加 初期から一貫して搬送先状況も 40年を経て年間2万件突破
熊本映画常設館草創期 敷島(嶋)座・電気館・敷島倶楽部	藤川治水	45	1)はじめに(電気館開館・開館日) 2)誤伝を生んだ三冊の文献(南国紅燈夜話・熊本夜話・虚彦映画譜50年) 3)再確認ともうひとつの謎(九州紙上の開館記事・敷島座という寄席・敷島倶楽部の焼失) 熊本の映画週報、熊本主要座の変遷表
熊本民俗探求二編	鈴木喬	61	1)昭和初期子供四季の遊び 2)「あんたがたどこさ」鞠突唄考
肥後能楽の源流 -細川家入国のころ-	中村勝	83	
明治十一年の大区会について	水野公寿	103	1)はじめに(熊本県民会) 2)大小区会要目 3)第七大区大区会 4)第八大区大区会
史料紹介『登り・下り参勤道中日記』	川口恭子	115	島田美術館所蔵 御小姓組堀部次郎左衛門の寛延2・3年の道中日記(翻刻)
吉田如雪日記『上京公私諸控』	富田紘一	137	慶応2年3月(翻刻) 解説)吉田家系図、経歴、日記中に登場する主要人物紹介
史(資)料を提供していただいた方々		157	
新熊本市史編纂基本計画		158	
新熊本市史編纂関係者名簿		161	
新熊本市史編纂日記抄		163	
執筆者紹介		166	
編集後記		167	